

平成 20 年度 研究開発助成事業 イノベーション創出研究支援事業 発展・橋渡し研究補助金（4 件）

	研究開発テーマ名 および 研究概要	研究者氏名【所属 / 役職等】
1	<p>「エメレット」チーズのチーズアイ形成メカニズムの解明 試作チーズ「エメレット」(写真)のガスホール(チーズアイ)形成メカニズムを解明し、試作による再現試験、実証試験を行うことで世界初となるまったく新しいチーズタイプの開発を目指す。これにより、地域独自の存在感あるチーズを開発し、生乳の需要確保と消費拡大に寄与する。</p>	葛西 大介【十勝圏振興機構食品加工技術センター / 主任研究員】 中村 正【帯広畜産大学食品科学研究部門 / 講師】 宮嶋 望【農事組合法人共働学舎新得農場 / 代表】
2	<p>レーザ加工用テーパ光ファイバの研究開発 急速に発展するレーザ応用技術をニーズの高い加工技術(非通信分野)で活用するため、H18 年度採択のものづくり研究開発事業の成果を活かし、世界的に製品化が進んでいない高出力レーザ光伝送用高機能光ファイバを開発し、北海道における新産業の創出を図る。</p>	小林 壮一【フォトリックサイエンステクノロジ株式会社】 三ツ野 仁【株式会社共立鉄工所】 新関 健士【株式会社共立鉄工所】 三ツ野 豪【株式会社共立鉄工所】 藤井 雄介【フォトリックサイエンステクノロジ株式会社】 須田 俊央【フォトリックサイエンステクノロジ株式会社】
3	<p>空気ばね式エンジンマウントを採用した車両開発 ディーゼル車は、CO2 発生量が少なく環境に優しいものの、振動の大きさが唯一の欠点である。昨年度は、貴財団の補助金を得て、世界で始めて空気ばね式エンジンマウントを設計し、ベンチ試験を重ねた結果、絶大な防振効果が得られる事を確認した。そこで、今回実車試験を経て、環境・人間に優しいディーゼル車の実用化を目指す。</p>	酒井 哲也【室蘭工業大学 / 教授・国際交流センター長】 臺丸谷政志【室蘭工業大学工学部機械システム工学科 / 教授】 施 建明【室蘭工業大学工学部機械システム工学科 / 准教授】 長松 昌男【北海道工業大学創生工学部 / 准教授】 山崎 功【㈱ワーカム北海道 / 社長】 会津 正喜【㈱ワーカム北海道】 相澤 和紀【㈱ワーカム北海道】
4	<p>携帯電話による I C タグ読取・情報表示システムの開発 携帯電話に接続して、人が携帯して簡単な操作で利用できる小型の I C タグ読取り装置を開発し、読取ったデータを携帯電話からサーバに送り、データに基づいた関連情報を携帯電話に返信・表示する I C タグ読取・表示システムを開発する。</p>	山本 強【NPO 法人札幌 IT フロント / 代表理事】 城間 祥之【札幌市立大学デザイン学部 / 教授】